

# 「親和國文」 総目次 (第一号、第二十号)

## 第一号 (昭44・3)

祝いのことば

発刊の辞

源氏物語の文末助詞の待遇性

説話と浮舟ノ物語

安原貞室の書簡二通

家伝上(大織冠伝)覚え書

古詩 無人名 為焦仲卿妻作(一)

(彙報) 昭和四十四年度講義題目・国語国文学会記録

遠藤嘉基

島居清

穂田定樹

洲江文也

島居清

植垣節也

藤井守

架蔵本「正徹百首(聖廟法樂詠百首和歌)」  
— 解題と翻刻 — 國枝利久  
(受贈図書雑誌目録) (彙報)

## 第三号 (昭45・10)

技巧と意識との関連

— 白鳥文学に於ける傍觀者の位置 —

西山宗因評点考(一) — 加判態度の確立 —

皇極紀の編述に関する一考察

戯曲「泰山木の木の下で」の一考察

「かげろふ日記」の文体について

— その文体と表現意識 —

芭蕉連句註解 — 延宝四年「此梅に」百韻 —

昭和四十四年度卒業論文題目

小久保 伍

乾 裕幸

一木 紀子

渡辺 悦子

山本 貴久子

山本 貴久子

島居 清

## 第二号 (昭44・12)

源氏物語の内話

家伝上(大織冠伝)覚え書 — その二 —

芭蕉連句註解

— 寛文五年「野は雪は」百韻 —

古詩 無人名 為焦仲卿妻作(二)

穂田定樹

植垣節也

島居清

藤井守

## 第四号 (昭46・3)

兼誼本「鎌足武智麻呂伝」について

植垣節也

西山宗因評点考(一)

乾 裕 幸

西山宗因評点考(二)

—西国遊歴出家前後—

乾 裕 幸

『誹諧小相撲』及び『大坂独吟集』所収鶴永独吟百韻—

上向井 サチ子

翻刻・『梅十論』

島 居 清

藤原秀能の研究

古田 洋子

中世前期のへたてまつるゝとへまるらすゝ

野田 雅子

—平家物語を資料として—

藤井 守

第七号 (昭48・3)

乙州

古詩 無人名 為焦仲卿妻作(一)

野田 雅子

昭和四十五年卒業論文題目

修辞学の衣がえ —文章研究のために—

桑 門 俊 成

(受贈図書雑誌目録) (彙報)

冷泉為廣の研究

芝 美紀子

第五号 (昭47・9)

近松秋江論序説

小久保 伍

芭蕉連句註解

島 居 清

—延宝四年「此梅に」百韻(続)—

第八号 (昭49・4)

播磨国風土記と伊和大神

福 田 とく子

『夢助』解題と翻刻

乾 裕 幸

〔書評〕植垣節也氏『風土記の研究』並びに『漢字索引』

吉 井 巖

昭和四十六年度卒業論文題目

(受贈図書雑誌目録) (彙報)

芭蕉連句註解

島 居 清

—延宝三年「いと涼しき」百韻—

桑 門 俊 成

へまるらすゝへまるらすゝ再説

植 垣 節 也

豊後国風土記・古注集成稿(上)

國 枝 利 久

法門百首私注 —釈教歌研究の基礎的作業(一)

乾 裕 幸

豊後国風土記の伝写について

植垣節也

第六号 (昭48・1)

近松秋江論

—「黒髪」成立までの作品展開—  
鮑照の賦の制作年代について(二)

受贈図書雑誌目録

第九号 (昭50・2)

島居清教授華甲記念号

島居清教授略歴 編著書・雑誌論文

国語文体論の曲り角 —ひとつの提言—

漢文体の「致す」

「をり」と「とき」

法門百首私注(二)

—釈教歌研究の基礎的作業(三)—

「とりあわせ」の美の背後

重頼と正章の確執をめぐって

—俳諧論戦史の内—

芭蕉連句註解 —延宝六年「青葉より」歌仙—

『葦分船』とその文壇関係

漱石の学位辞退について

直井 潔 —人と文学—

『古俳書目録索引』訂正

漢語

難語一つ

昭和四十八年度卒業論文題目

小久保 伍

藤井 守

第十号 (昭51・2)

形状言の重複の一形態

「悲報来」について

初夢

昭和四十九年度卒業論文題目

受贈図書雑誌目録

国文学科講座内容一覧

第十一号 (昭52・3)

豊後国風土記・古注集成稿(下)

続詞花和歌集釈教部私注(一)

—釈教歌研究の基礎的作業(五)—

西鶴俳諧の読み

—『大句数』の一句を手がかりに—

芭蕉連句註解

—延宝六年「塩にしても」歌仙—

直井 潔(二) —人と文学—

△書評▽島居清編『俳諧放』万歳

昭和五十年卒業論文題目

受贈図書雑誌目録

国文学科講座内容一覧

蜂矢真郷  
村上隆彦  
島居 清

桑門俊成  
穂田定樹  
辻田昌三  
國枝利久

渚江文也  
乾 裕幸

島居 清

明石利代  
植垣節也

唐井清六  
乾 裕幸

穂田定樹  
島居 清

植垣節也  
國枝利久  
千古利恵子  
乾 裕幸

島居 清

唐井清六  
白石悌三

第十二号（昭53・1）

国語国文学会創立十周年記念号

学会創立十周年を迎えて

動詞ツクをめぐる語群

方違神社の祝詞

初瀬観音と浮舟

続後撰和歌集伝本の研究

芭蕉連句註解

―天和二年「錦どる」百韻(一)―

大矢数の西鶴

村野四郎論

直井 潔 ―人と文学(三)―

出雲国風土記植物考証(上)

△研究ノート▽浪花城下春翁

昭和五十一年度卒業論文題目

受贈図書雑誌目録

国文学科講座内容一覧

第十三号（昭53・12）

嘯山著『<sup>有馬</sup>紀行たゝび越』(解題と翻刻)

芭蕉連句註解

島居 清

蜂矢 真郷

植垣 節也

洲江 文也

國枝 利久

千古 利恵子

島居 清

乾 裕幸

村上 隆彦

唐井 清六

高木 洋子

乾 裕幸

―天和二年「錦どる」百韻(二)―

続後撰和歌集伝本の研究(二)

村野四郎論 ―自己肯定の姿勢2―

昭和五十二年度卒業論文題目

受贈図書雑誌目録

国文学科講座内容一覧

第十四号（昭54・12）

鼠糞のみみぢ ―伊勢集冒頭―

『徒然草』第二百二十八段の「院」なるお方に

ついて

『冬の日』の構成について

出雲国風土記植物考証(下)

翻刻 竹巢月居文集

昭和五十三年度卒業論文題目

受贈図書雑誌目録

国文学科講座内容一覧

第十五号（昭55・12）

古今集の字余り

ハ(端)をめぐる語群

國枝 利久  
千古 利恵子  
村上 隆彦

洲江 文也

大坪 利絹

島居 清

高木 洋子

櫻井 武次郎

毛利 正守  
蜂矢 真郷

李徴について — 中島敦「山月記」書付け

村上隆彦

「ツチグモ（土蜘蛛）」

唐井清六

— 解説と総目次 —

受贈図書雑誌目録

昭和五十四年度卒業論文題目

国文学科講座内容一覽

与謝野晶子ノート — 「舞姫」を中心に —

佐藤和夫

翻刻「喜春楽」（梅室八十賀集）

櫻井武次郎

瀧井孝作ノオト

唐井清六

— 碧梧桐をむかえての高山での句会 —

△書評▽ 泷江文也著「源氏物語の美質」への

思い

深沢三千男

受贈図書雑誌目録

昭和五十六年度卒業論文題目

国文学科講座内容一覽

第十六号 (昭56・12)

モドロカス考 — モドルとマダラとの間 —

蜂矢真郷

伝芭蕉松島独吟歌仙註解余録

島居清

翻刻「梅室翁紀年録」

櫻井武次郎

受贈図書雑誌目録

昭和五十五年卒業論文題目

国文学科講座内容一覽

第十八号 (昭58・12)

古事記における后妃記事の検討

寺田陽子

萬葉集卷一の一三番「如此尔有良之・然尔有

許曾」の訓読

毛利正守

萬葉集の「誤読」語彙

山崎福之

— 源氏と論語とに關して —

蜻蛉日記考察 — 序文を中心として —

小林たまみ

紫式部周辺人瑣事覚え書き

泷江文也

— 大式三位と栗田兼房 —

「閑居友」について

小西美幸

— 慶政の執筆態度をめぐる一考察 —

捨女覚書 — 生年と書翰七通について —

江藤睦子

芭蕉連句註解後考稿

島居清

第十七号 (昭57・12)

泷江文也教授古稀記念号

業平と源氏

萬葉集・オモフの字余りと脱落現象

泷江文也

萬葉集訓義小考 — 本文と訓との關係 —

毛利正守

「山家集」の清濁に就きて

山崎福之

芭蕉連句註解後考稿

大坪利絹

島居清

「春琴抄」私考

三島由紀夫研究 — 『剣』を中心にして—

翻刻『さるのゆん』（梅室処女撰集）

受贈図書雑誌目録

昭和五十七年度卒業論文題目

国文学科講座内容一覽

石本行枝  
土志田紀子  
櫻井武次郎

昭和五十八年度卒業論文題目  
国文学科講座内容一覽

第二十号（昭60・12）

『親和國文』第二十号発刊を祝って

『古事記』音読注の「重複」「矛盾」をめぐって

めぐって

萬葉集と訓詁 — 「乍」の場合—

「伊勢日記」試論

去来付句「歌の奥義を知らず候」考

— 西行説話との関連—

瀧井孝作ノオト（三）

伴蒿蹊自筆『読雅俗弁』

翻刻・柏奚撰『行々子』

「親和國文」総目次（第一号～第二十号）

受贈図書雑誌目録

昭和五十九年度卒業論文題目

国文学科講座内容一覽

大坪利絹  
辻憲男  
山崎福之  
田中仁  
大坪利絹  
唐井清六  
田中仁  
櫻井武次郎

この十年の記

『古事記』音読注の諸形式

萬葉集の「彷徨」と「徘徊」について

前坊・先帝・一の院

虚権と文学 — 南北朝の問題—

芭蕉連句全註解を終えて

黒島傳治ノート

瀧井孝作ノオト（二）

翻刻『巳四時行』

〔特別寄稿〕追想記

△資料▽薄田泣菫来簡集

△資料▽島居清著『芭蕉連句全註解』

受贈図書雑誌目録

親和女子大学国文学研究室編

阿部正美